

お寄せいただいたご意見とその回答 （要望・意見など 7件、心境やお礼 10件）

手紙の分類	担当部名	受付場所	意見の概要	対応状況
意見	医事	外来1	説明をわかる様に指導してほしい。 治療の順番等々の説明がしてほしい。安心出来る様な方法等が要。	この度は不快な気持ちにさせてしまい申し訳ありません。今後も患者さんの立場を考えた対応を心がけるよう指導してまいります。
意見	医事	外来2	先月末検査、8月7日結果が聞けるとの事で来院（予約が入ってました）。技師が夏休に入っていて担当医よりまた来週来て下さい、との事でした。 遠い所から、待ちに待って結果を聞きに来ているのに「また来週」に返す言葉がありませんでした。	技師が夏休み等の休暇を取得する際に、職員間で申し送りなど行い担当技師が不在でも検査結果をお答えできるようにしておりますが、この度はご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。 今後、この様な事が無いよう指導してまいります。
意見	看護部	3病棟	洗面所そばの冷凍庫。 1人の患者の物で半分以上使われているのでとても不便！！いつになったら減るの？	この度はご不便をおかけして申し訳ありませんでした。 共用冷蔵庫・冷凍庫は、無記名の品や賞味期限切れの品は定期的に処分させて頂き、衛生管理に努めています。 また、共用にあたっては使用のルールに沿ってご使用いただけるように説明し、掲示することで適切にご使用いただけるようにいたします。
要望	管財担当	外来1	1. シャワー室を使ったが、入口折ドアの下ゴムとガラスの淵のゴムパッキンの上が黒カビで不衛生。（拭き取っておきました） 2. シャワー室の水ぬきの網の上に髪の毛がゴッソリ詰っていた。（捨てておいた） 3. 部屋の外窓サッシのレール部分に砂が詰っていて、せめて1ヶ月に1回ぐらい清掃してもらいたい。 4. モップで各部屋を掃除していて感じは良いが、雑巾で落ちる汚れは雑巾でお願いしたい（血液）。髪の毛はモップでは取れない。 以上勝手な感想を書きました。担当者をいじめないでネ。 追.810のテレビ台のキャスターの左側のストッパーノブが破損しています。部品の交換をお進めします。	清掃が行き届かずご迷惑をおかけしました。 1, 2 シャワー室は毎朝シャワー使用前に清掃をしています。ゴミがありましたらお近くのスタッフにお声がけください。ゴムパッキンの黒カビを落とすためには塩素系薬品を使う必要があります。この薬品はにおいが強く毒性もあるため、病棟責任者と相談しながら対応します。 3 サッシのレール部分は年2回清掃しています。汚れがひどい場合は対応いたします。スタッフにお知らせください 4 血液や髪の毛はモップで取ることができます。汚れが残っている場合はスタッフへお伝えください。なお、血液に触れると感染の可能性がありますので、血液を清掃するときは使い捨てシートを使用しています。 追 ストッパーノブの破損を教えてくださいありがとうございました。ただちに予備品と交換しました。
要望	栄養部	5病棟	食事について。 1. 味付について、調味料をもっと食べやすく工夫して下さい。 2. それに、塩分や味そが	食事は、当センターの「栄養・食事摂取基準」に基づき提供しています。 病院の食事は、治療の一環という観点から、多少の制約・制限を伴うこともございますが、可能な限り、患者様のニーズに応じた食事ができるよう努めてまいります。
要望	管財担当	5病棟	部屋の隅(衣類戸棚のうら)にほこりが沢山たまっているて、テレビのコンセントが半分しか入っていない状態でした。これはテレビ(Eテレ)でやっていましたが、ショートして発火するおそれがあります。 お掃除の人に直していただきましたが、他の部屋にもあり得ることなので、一度いっせいに調査、修正の必要があると思います。	ご意見ありがとうございました。病室内の定期清掃を2か月に1回実施しています。定期清掃のときには、病室内の備品類をほかの場所に移動し清掃します。その際、戸棚の裏のほこりを取り除きます。

要望	管財担当	デイケア	デイケアルームに自動販売機があると便利だと思います。	申し訳ありません。自動販売機は利用状況を考えて設置しています。現在のところデイケアルームに自動販売機を置く予定はありません。
----	------	------	----------------------------	--

以下は当センターやセンタースタッフに頂戴したお礼などをご紹介します

手紙の分類	担当部名	受付場所	
礼		1病棟	大変お世話様になりありがとうございました。 医師、看護師の方々、皆さん心を尽して下さり、快適な入院生活を送ることができました。 家族も安心して、従事された方々に感謝しております。
礼		2病棟	先生方、看護師さんには大変お世話になりありがとうございました。 手術の時には横向きで下の手が冷たくなってしまうと言うと、看護師さんが手をにぎり、ずっと終わるまで温めて下さいました。手術中、暖かいぬくもりで不安もなくすみしました。ほんとうにうれしかったです。 皆様おひとりおひとり笑顔で看護して下さい、ほんとうにありがとうございました。
礼		3病棟	緑豊かな自然の中、先生方始めスタッフの皆さん方の細心にわたり心優しい接し方に不安なく治療を受け退院出来た事、心よりお礼申し上げます。食事も病める方々への心優しい献立、美味しく心うたれました。 多忙な先生方、スタッフの皆さま、くれぐれもお身体大事になされて、病める方々の支えになってあげてください。 此の度は本当にお世話になりました。有難うございました。
礼		3病棟	先生方を始めスタッフの皆様の笑顔にささえられ入院生活をおくる事が出来、今日無事に退院と云う事になりました。 本当にお世話様になりまして、有りがとう御ございました。
礼		3病棟	5年前の卵巣がんに続き今回また乳がんでお世話になりました。外来で対応して下さいの方々を含め、すべての部署の職員の方々の働きぶりに常々頭が下がります。どうすればこの様に患者の心に寄り添った対応が出来るのかと感心しています。予期せぬガンにおそわれてもここに来れば安心です。 これから是非「唯惜命」の精神のもと、ガンの撲滅と治療に努力して下さいますようお願い申し上げます。 本当にありがとうございました。 ※少し病棟が暑かったけど…食事もおいしかったです。掃除もゆき届いて…
礼		5病棟	解りやすい説明と、優しいお心づかいをいただき、本当にありがとうございました。

礼		6病棟	A先生はもとより、関係なさった諸先生方には、親身のご対応深く感謝しております。 病棟においては、代表担当看護師のAさんを始め、日勤、夜勤で面倒を見てくれた看護師さんや助手さん達の患者目線での看護に感激しました。 患者としては二度と皆さん方に逢いたくありませんので、健康には十分注意してまいります。 ありがとうございました。
礼		6病棟	事前に入院手続きの説明があり、安心できたものの入院がいつになるか不安がありました。しかし、入院が決まった時からは手順よく連絡を頂き、スムーズに事が運ぶことができました。 病棟の方も、連絡いただいた日は4人部屋でしたが、翌日朝には又連絡を頂き、6病棟Bに決まりました。予定通り事が進み、感謝しております。
礼			拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。 突然にこのような手紙を差し上げると無礼をお許しください。 私は、1996年(平成8年)から貴センターでお世話になりました、保坂悦の長男保坂崇と申します。母悦は昨年8月に亡くなり、間もなく一周忌を迎えます。 先日遺品の整理をいたしましたところ、貴センターの診察券が出てまいりました。 母がかかりつけのお医者さまから、食道癌との告知を受け、紹介されて貴センターを訪れたのは1996年秋でした。高齢のため手術より放射線治療の方が適しているとのことで、約1年?(はっきりした記憶がありません)放射線治療を受けました。母はよく「とても親切なお医者さまに診ていただいているの。K先生という方よ。」と話しておりました。そんなときの母はとても嬉しそうな表情をしていました。 母はその後「敬寿園」という特別養護老人施設に2004年入所し、癌の再発もなく昨2012年8月26日、95歳まで16日を残して「共立病院」(見沼区片柳)で亡くなりました。死因は敗血症でした。 貴センターでの放射線治療を終えて以来、16年余母は癌の再発も無く穏やかな余生を送りました。これも一重にかずもと先生はじめ貴センタースタッフの皆様のご尽力のおかげと、残された家族一同深く感謝いたしております。 死後1年も経ってからご報告致しますが無礼をお詫びいたしますとともに、重ねて御礼申し上げます。 ありがとうございました。 最後に貴センターの益々のご発展をお祈りいたします。
			真に単なる偶然の筈で私は希望しお願ひし、お世話して頂き、この病院の先ず泌尿器科を受診し、その後日を経て泌尿器科に入院させて頂き、手厚い看護、検査、治療の上、8日目に緩和科に転科入院させて頂いた再燃前立腺の末期患者であります。抗癌剤も効かなくなって、4月からは麻酔一本で痛み止めにより余命を過している患者であります。 処が私こちらに入院以来、信仰を元来持っている者ですので、ターミナル・センターというか、そういうこちらから天国に入る関門時点で、これ程人生観が変わるのではなく、最期の人生時間というより瞬間であるのに、信仰についてもより強い永遠の生命の信仰というか、福音信仰に改めて最後に開眼された様な不思議な体験を日々刻々させて頂き、何と表現して良いのか分かりませんが、有難く、嬉しく、感謝と感激で涙に咽ぶなんてものでなく、恥ずかしいお詫言、泪滂沱といった感じで、日々毎日毎日本当に刻々、申し訳なさりと有難さで震える嬉しさで感激一杯なのです。 この病院は以前からお聞きしてはいましたが、これ程すごい完全に近い、整えられ機能している病院はないのではないのでしょうか。 私は先ずもって全てを統轄されこうした具体的に生きて素晴らしく働かれている組織を作られ、維持されているあなた様院長様のお力特に病院経営・治療・看護・特に緩和に至る迄のものの凄い能力を発揮し、特に先生方一同はじめ看護スタッフの外他のあらゆる分野のお仕事に従事して下さるお一人おひとりに対しまして毎日の様に唯々感謝、感謝で有難うございます。と唯々申し上げる他に手がないで途方に暮れる思いです。 その気持は絶対形に表わして表現したいのですが、一寸お尋ねすると、公務員としての立場を遵守している都合上、飴玉1ヶ冗談にも頂けないのですとお聞きし、本当に唯々申し訳なく、私の様に全身癌転移の治療法は抗癌剤も効かなくなった以上、緩和段階に入っていることを良く自覚して過して下さいと自治医大泌尿器科の担当医K先生に言われ、では県立癌センターの方に取敢ずすばらしい緩和科もあるというので、転院をお願いし、手続きも取らせて頂きましたが、緩和科は多分3ヶ月待ち位になりますよとおっしゃられていました。 処が、どういう風の吹き廻しか、突然御病院への入院が適ひ、7月末の29日の月曜日急遽入院が許可され、入院させて頂きました。入院当日より泌尿器科の先生方の本当に素晴らしいお手当て至れり尽せりの治療養を頂き、結果、矢張り緩和科に移るべきという体調全般のご判断を頂き、こちら緩和科に移らせて頂くことになりました。

在宅中2～3週間全く食事も満足に頂けず、唯食事を1時間2時間3時間と眺め続け、喉を通るものは殆どありませんでした。にもかかわらず、こちら緩和科に移りました昼食以来、御飯は2/1全粥軟菜という種類のものですがそれがおいしいの何のって、高級割烹料理店の高級料理や1回きり友人の結婚式で50年以上前帝国ホテルの村上料理長さんという偉い料理の達人に作って頂いたお料理よりも、今のお料理の方が僅かで原価も高級ホテルの何拾分の1のものしか知りませんが、とてもおいしく毎日の様に完食し、遂最近では長男の嫁の世話で「お父様」全粥が宜しうございますと言うことで頼んで戴き、それもお陰で完食できて、有難くて有難くて感謝感謝の一言だけで身の置き場のない様な日々、何か世界一の幸福者としてこのターミナルな施設に辿り着き、全ての治療、看護を親身をもってやって頂き、本当に不思議幸運というには余りにも有難いお話で、私は信仰を持っているお陰もあるのですが、私を診察し治療して下さい先生方のすばらしさ、私は見舞いに来た全員に埼玉県立癌センターの凄い総合力を、著名な観光地や目立った物産もないのに、一方世界文化遺産が何か知りませんが、景色や風景、花と緑だけでは決して、現代医学を越えて難病を癒すことは出来ないでしょうし、それなりの価値は十分認めますが、私はこの埼玉では人間知性理性の及ぶ最高度医療の研究、技術、実践をもって県下代表すべき医療最高施設を現に持ち運営し、そして今私が受けている様な最高の医療を受けて、本当に心から満足し、感謝して此世から来世に喜んで、本当に悲哀とか痛切とか憐れ苦悩といった特に多く先住った先輩達から聞いた愚痴、恨み、辛み言など何処について出そうとしても出て来ない程120%満足できる人事、人知を尽してお支えを頂き、全く何一つ不平不満の類を微塵も言えない位満足し切って此処で終るでしょうが、本当に感謝し切れませんし、言葉で表現し尽すのは無理な話なのです。

本当のことを言うと、何が全くすごいジャンボ宝籤の特等に当って此処に入れた感じで、処が驚く勿れ、出会うお方、お一人おひとりがお医者様から始まって看護師様、事務方の方、お食事お料理を届けて頂く方から、部屋、便所掃除までして頂く方が素晴らしい方で、本当日々刻々先生方々は「あなたは時間がありませんよ」「それだけ充分お考えの上頑張ってください」「私達も全力をあげてあなたをサポート申し上げる覚悟です」とおっしゃられ、それを言葉でなく毎日実践、私を治療して励まし頑張らせて下さいます。

先生はステロイドホルモンのお陰だとおっしゃいましたが、入院今日でそろそろ20日間を越えますが、首の周りのリンパ腺腫瘍が見る間に小さくなり目に見える処だけでも入院時には考えられない食欲振りといい兎に角、唯有難うございます。本当に有難うございますと言いつけるしかありません。

勿論ステロイドホルモンの限界も素人乍ら判っている心算ですし、それ程長い間まして癌治療がそれで何とかなるなんて考えても見ませんが、この親身並びに心配して下さい先生方、看護師さん方のお支え、つまりお心遣い実践行動は、私汗かきで夜など何度も何度もお呼びして迷惑三昧おかけし、恐縮千万なのですが、本当に何一つ私なんか不快な思いをするなどということは未だかつて決してございませんし、大体そういうすごい責任感旺盛で熱心努力の固まりの様な凄く素晴らしい方々ばかりです。本当にいくら褒め讃えても足りない位、立派献身の鑑の様な方々です。

本当はお一人おひとりのお名前を挙げて院長先生からも直々患者の1人の私という個人が有難うと、毎日涙流して感謝申し上げているという事位伝えて頂きたいのですが、個人問題について可成り面倒でうさくなっている時代なので、いくら善良行為でさえ、何か不公平の形で、かえって皆様方の素晴らしさを帳消しにしてもいいかもしれませんので敢えて申し上げますが、私はお陰様で数日後、仮退院ということで1日外泊の許可を頂きましたのでその退院前に院長先生直々にお礼と現状を一寸冗舌で言葉足りない申し訳ない説明で恐縮千万、しかも体調の所為か、此頃殆ど眼がまともに開けて開けておれず、たるんで上瞼が下がりがだし良く眼が見えず、その上急いで書きましたので、本当に乱文乱筆そのもので見直しも十分出来ず、可成り壊れレコードの鳴っているような有難う有難うございますの唯連呼の様な感じでもするのですが、取敢えず仮退院に当ってこんな素晴らしい施設を指揮、指導、監督をなさって、これだけ御従業員様一同に、これだけの素晴らしい能力を全開して発揮させ見事な成果、効果を挙げられてられるT先生様に唯々感謝し、敬服敬慕さえ申し上げる次第です。

兎に角、県立癌センターは素晴らしい。緩和センターはじめ兎に角、すごい、ざっくばらんに言わせて頂くとなあなたは本当にお偉い先生様です。

私も教員をしていましたし、管理職も色々経験しました。退職後には大学の非常勤講師もやりましたし、保護司も17年間勤め多くの人々方々に出会って、この保護司の矯正指導事業では殺人犯、強盗強姦犯、暴力団組長から麻薬の取引人、性犯罪などでは単なる痴漢行為の習慣犯から幼児猥褻犯等勿論置引、万引などの軽犯に至るあらゆる犯罪人やその親、兄弟、子孫達にもお会いできる貴重な勉強をさせて戴きましたが、私は本当に幸運にも各種、各面の方々に出会い、出会いの素晴らしさ、恐ろしさも加えて全て味合わせて頂いた心算でしたがその中で、この病院へ来て初めて以来20日間に及ぶ出会いというのは、未だ経験した事のない心地良い経験であって勿論私は信仰者故のギリシャ語パネウスという目に見えぬ霊というか息、風とも靈魂、御霊、聖霊などという肉の目で見えないものを見たいと常に思い努力も重ね54年間の信仰生活を貫いて参りましたが、このターミナルの皆さんとお会いした結果と私は信じているのですが、すっかり霊の目が開けてしまった感じで、それが嬉しくもあって、兎に角、人を恨むことも辛むこともなく嬉しく最高の気分で終りを迎えさせて頂いていますが、結局田中洋一大院長先生を先頭とする、この凄い力を持った組織体に出会い触れたのがきっかけで此様な心境にも達しさせて頂いた気がするのです。所謂、仏教で言う「悟り」が開けたというか全てがほどこけて仏様、つまり涅槃の心境になったとも言えましょく。これ一重に院長先生をはじめ諸先生方、諸看護師の皆様方、そしてその他のスタッフを含めてこの病院内のあらゆる方々のお陰で私は緩和の素晴らしさは勿論、埼玉県有名なもの殆どなしと言われる中で、こんなすごい日本一の文化施設、病院という、皆さんの病を治療してこうして扱って戴ける、兎に角凄い日本一の場所、病院があるのだということをもっともっと、声を大にして叫び、県民は勿論、全国民に知らせて行かなければならないと信じます。

全く或る意味余計なお節介かもしれませんが、余り観光地も名にする様な名物もない私埼玉生れの埼玉育ちとしては、本当に真剣にこの施設を全国にアピールし実態の凄さをお知らせすべきだと思います。そのために院長先生におかれましても、県の知事さん初め県の議会関係や勿論衛生部長の方など、直々にこの病院をお訪ねになり、私の様な患者がいて、本当に悲哀痛切な思いになる筈なのに此処に来て喜んで嬉しい気持で最期をあちらへ参る心境にならせて頂けるそういう施設、兎に角、凄い所なのだとして声を高くして訴え、特に私など県民が直接言葉以外の御礼も出来ないという厳格施設であれば、此処に奉仕されている皆様に対してどの様なこんな素晴らしい施設を指導運営維持されている院長先生をはじめ、先生方はじめ各スタッフに対して何等かの適切な報酬が必要なのではないかとつくづく思います。

院長先生からは県当局にそういうことを建言されることは出来るのかどうか私は判りませんが、どうしてもそうして恩に報いなければ私の様な人間には申し訳なくて、いたたまれない位の気持ちにもなります。

		兎に角何とか皆様のこんな皆様の凄い方々に謙虚さに甘えてしまっって何もしないなんて、私は神様がお喜びにならないでしょう。 本当に私1人でも個人的に全皆様お一人おひとりに御礼がしたくて仕方ありません。処がお訊きすれば誰一人、そんなことは許されないと固辞し、又、おっしゃるばかりです。こうなれば院長先生にお願いし何とかして頂けないと私としては向岸というか天国凱旋で天国に上る予定ですが、それが心地良く行き兼ねてしまいます。 此処へ来て、こんな素晴らしい気持、感性ばかりでなく知性迄が冴え渡って認知の起きている筈の身なのに、何か頭脳まで明晰になって来るのではないかと、本当に錯覚する位、驚き有難がり感謝して毎時、毎刻を過しています。 近々仮退院その前に是非院長先生には此気持、心より真から知って頂きたいと願って、重ねて恐縮ですが、本当にひどい乱文乱筆の上に急ぎ過ぎて結局なにか支離滅裂にもとられてしまいそうな不安さを感じますが、今日は仮退院前に是非院長先生に一筆啓上し微意呉々もお受け取り戴きたく、平にご寛容願ってお願い申し上げる次第でございます。 最後に時間を急ぎ過ぎて重ね重ね乱文乱筆になり殆ど読みにくくなり本当に申し訳ございませんでした。
--	--	---